



Real HD
Wi-Fi Smart Blackbox

GW-200



GW-200取扱説明書

GW-200シリーズ

法人仕様



GW-200



インカメラ(i)



リアカメラ(R)

未来のために、人のために



コスモシステム株式会社

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全かつ正しくお使いいただき、お客様および他の人々への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを表示記号と文章で説明しています。警告・注意の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

●**本機の取付・配線は車両の専門的な知識が必要です。必ずお買い上げ頂いた販売店にご依頼ください。**誤った取付・配線を行った場合、本機や車両に重大な故障を来す場合があります。

●本機は、所定の位置に正しく取り付けた上でご使用下さい。誤った取付けをすると、本機が正しく動作しないだけでなく、運転の支障となったり、運転中に製品が落下する可能性があります。車の運行に支障をきたすことがあるため、大変危険です。

●本機はDC12VまたはDC24V㊟アース車専用です。DC12VまたはDC24V以外では使用しないでください。

●本機(付属品を含む)を分解または改造しないでください。事故、火災、感電の原因になります。また、お客様による分解、改造をした結果発生した故障等については保証範囲外となります。

●付属の電源ケーブルは本機専用です。本機以外の他機器の電源を取ることは絶対にしないでください。電源ケーブルの電源容量がオーバーして火災、感電の原因となります。

●付属品の電源ケーブルのヒューズを交換する際は、必ず取扱説明書で規定する容量(定格電流)のヒューズを使用してください。規定容量以外のヒューズを使用すると火災、故障の原因となります。

●Rec-LED/GPS-LEDが正常表示しない、またはブザーが正常に鳴らないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因になります。

●本機の内部に異物を入れないでください。また水などの液体をかけないでください。発煙、発火の原因になります。

●内部に異物が入ったり水にぬれたとき、外装ケースが破損したとき、または煙や異臭・異音が出たときは、直ちに使用を中止のうえ必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。

●ドライバーは運転中にSDメモリーカードの抜き差しをしないでください。前方不注意となり事故の原因となります。SDメモリーカードの抜き差しは、必ず安全な場所に車を停車後、おこなってください。

●SDカードスロットには、SDメモリーカード以外の異物を挿入しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

●付属の電源ケーブルのシガープラグが車のシガーソケットの形状に合わない場合は、使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

●雷が鳴り出したら本機、電源ケーブル(シガープラグ)には触れないでください。落雷による感電の危険性があります。

●ケーブルは付属の結束バンド、ケーブルホルダーを利用して運転操作の妨げにならないように引き回しを行ってください。

●ケーブルの引き回しの際に余ったケーブルは、束ねて運転操作の妨げにならない位置に固定してください。

⚠ 注意

- 本機(付属品を含む)を車載以外の用途では使用しないでください。感電や怪我の原因となる可能性があります。
- 本機は車両に設置して運転状況を映像データとして記録することを目的とする機器です。盗撮目的またはイタズラなどでは使用しないでください。
- 本機に落下などによる強い衝撃や振動を与えないでください。映像が記録できなくなる、またはレンズが破壊されるなど故障の原因となる可能性があります。
- 電源ケーブル(シガープラグ)を車両のシガーソケットから抜くときは、プラグ部を持って抜いてください。コード部を持って抜くと、コードが破損して、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブル(シガープラグ)を車両のシガーソケットから抜くときは、濡れた手でシガープラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。
- 夏の炎天下など直射日光が当たった場合は、本機の外装ケースが高温になることがあり、触れると火傷する可能性があります。
- 本機の取付状態を定期的に点検してください。取付スタンドの角度調整ネジの緩みや貼付した部分が剥がれていないことを確認してください。角度調整ネジの緩みがある場合は、角度を確認または調整のうえ増し締めしてください。剥がれている場合は、貼り付け直してください。撮影画角がずれて正しい映像が撮影できない原因となります。また本機が外れて視界や運転の妨げとなり、事故の原因となることがあります。
- SDカードスロットには手や指を入れないでください。怪我の原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機および電源ケーブルを強く引っ張らないでください。本機が外れる、または電源ケーブルが損傷する恐れがあります。万一本機が外れた、または電源ケーブルが損傷した場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機のレンズの前を異物またはステッカーなどが遮る場合、正常に撮影できません。本機のレンズ及び前面部を清潔な状態にするように常に注意して下さい。また周囲に他の物が置かれた場合もフロントガラスに反射して見えることがありますので、本機を設置した周囲には他の物を置かないようにしてください。
- GPSの円滑な受信のため本機の装着の際は本機GPS受信部を遮るような位置に物がないようにしてください。また、取付時はカーナビゲーションの電源はOFFにしてください。ワンセグTV視聴時等はGPS受信に影響する恐れがあります。
- 設置する時はしっかりと固定し、設置後には無理な力を加えて本機を動かしたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。位置がずれて誤作動を引き起こす恐れがあります。
- 事故時の映像など大切な映像が記録された場合は、上書きされないように本機からSDメモリーカードを抜き取ってください。その後SDメモリーカードの映像をパソコンのハードディスクなどにバックアップをとってください。
- 一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムに遮られGPS受信感度が悪化したり受信しなくなることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省により管理されており、意図的に測定用電波のデータが変更される事があります。
- 車内でご使用の電子機器(業務用無線機、レーダー探知機、本機以外のドライブレコーダー、ETC、カーナビゲーション等)とは離して設置してください。近くに設置しますと電波が干渉し本機のGPS受信に影響を及ぼす恐れがあります。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った使い方をしたときに「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った使い方をしたときに「障害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

目次

1.ご使用の前に

1.1 本機器の特徴	05
1.2 付属品	06
1.3 各部の説明	07
1.4 本機器の仕様	08
1.5 本機器をセットアップする	09

2.本機器の基本的な機能

2.1 使用方法	11
2.2 メモリーカードの動画フォルダ	15

3.ビューアの設定方法

3.1 ビューアソフトのインストール	16
3.2 ビューアのメニュー	18

4.本体の設定方法

4.1 システムの設定	19
4.2 イベントの設定	20
4.3 ユーザー情報を入力する	21
4.4 SDカードの情報・修復	22
4.5 ビューアソフトのバージョン確認	23
4.6 バックアップ形式の設定	24

5.ビューアの機能

5.1 再生画面の切り替え	25
5.2 レーン(補助線)を引く	26
5.3 リピート再生	27

1. ご使用の前に

1.1 本機器の特徴



130万画素

130万画素の鮮明な画質



音声ガイド及び高性能マイク
内蔵で音声録音機能付き



1280×720P Real HD

1280×720 ピクセルの
Real HD 高画質録画映像



LED

知能型セキュリティーLEDを採用
(動作感知)



Micro SD

Micro SD メモリーデータの自動復旧機能
録画データにエラー発生の際、自動で復旧



Wi-Fi

Wi-Fiを通して、スマートフォンによる
各種操作が可能。

- ①リアルタイムで映像確認
- ②録画映像の再生・データ書き込
- ③機器の環境設定及び最新ファームウェア・アップグレード。



130万画素

電源が遮断されても録画データを最後まで
書込む



電源ケーブル常時接続の際、車両のバッテリー保護のために自動放電防止機能を搭載
Power Off-11.7(23.7)V, Power On-13(25)V
Power Off-11.7(23.7)V, Power On-13(25)V
ビューア及びスマートフォンにて設定が可能です。

1. ご使用の前に

1.2 付属品

GW-200



GW-200本体



本体取付スタンド

オプションモデル

GW-200i



GW-200本体



インカメラ (i)



インカメラ接続ケーブル



Micro SDHC
メモリーカード

GW-200R



GW-200本体



リアカメラ (R)



リアカメラ接続ケーブル



GPSアンテナ

どちらかをお選びいただけます



電源ケーブル
(シガージャックタイプ)



電源ケーブル
(ACC接続タイプ)



Wi-Fiドングル
(802.11N)
※別売品



パッケージ内に写真と同じ付属品が全て入っているかお確かめください。

Wi-Fiドングルはオプション販売品です。

1. ご使用の前に

1.3 各部の説明

本 体



- ① 後方撮影カメラ接続端子
- ② 外付GPSアンテナ接続端子
- ③ TV-OUT (外部モニター端子)
ビデオケーブルを接続し、ライブ映像を表示します。
- ④ DC-IN (電源接続端子)



- ⑤ Micro SD メモリーカードスロット
- ⑥ スピーカ・ホール
- ⑦ GPS LED
- ⑧ 録画 LED
- ⑨ マイク
- ⑩ Wi-Fi 使用者登録ボタン (短押し)
登録待機モードは2分間維持されます。
時間が過ぎると当モードは自動で解除
されます。
音声録音 On/Off (長押し)
- ⑪ Wi-Fi USB端子
- ⑫ カメラレンズ
- ⑬ セキュリティー LED

1. ご使用の前に

1.4 本機器の仕様



GW-200本体

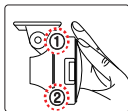
イメージセンサー	CMOSセンサー130万画素
オーディオ入力	マイク内蔵
映像圧縮方式	H.264
音声圧縮方式	ADPCM
録画解像度	前方/後方カメラ720P(1280×720)
録画フレーム数	最大30fps
Wi-Fi ボタン	音声録音 On/Off 及び スマートフォン登録待機モード On/Off ボタン
ショックセンサー	外部衝撃によるイベント録画
音声案内サポート(スピーカ)	機器の状態をお知らせするアラーム音及び音声案内
外付けGPSアンテナ	グーグル・マップと連動し位置確認
データ記録媒体	Micro SDHCカード メモリ容量4GB～64GB スピードクラス: Class 6 以上
カメラ画角	本体/後方撮影カメラ 約120°広角レンズ
ビューア	Windows XP/VISTA/7/8-32Bit/8-64Bit 対応
電源電圧	DC 12V-24V
動作温度	-20℃～70℃(保存温度:-20℃～90℃)
動作湿度	10～95%

1. ご使用の前に

1.5 本機器をセットアップする

取付手順 1

- 1 本体を①、②の順に設置台のミズに合わせ、カチッと音が鳴るまで押し込みます。

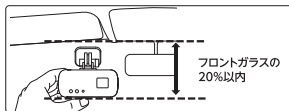


- 2 Micro SD メモリーカードを挿入し、設置台に付着の両面テープをはがしてください。

- 3 車両内の取付場所を決め、本機器を取り付けてください。その後、カメラが正面および車両内部を向く取付スタンドの角度調整ネジを回しカメラのレンズ(光軸)が地面と水平になるように角度を調整します。

この際、レンズ前方を遮るものがありませんよう、注意して取り付けてください。

※本機器が運転の妨げとならないように取り付けてください。



- 4 本体の上面にある接続端子にDC電源ジャックとGPSアンテナをつなぎ、車両内部のシガージャックのソケットに電源をつないでください(ハーネスタイプでは、ACC電源に接続。オプションカメラ接続時は、USBコネクタにケーブルをつないでください)。



本体を取付した後、車のエンジンをかけて車両の電源をつなぐと、録画・GPS LEDが一度全て点灯し、ブザーがなり、「録画を開始します」という音声案内とともに常時録画がスタートします。

- 5 オプションカメラを接続する際は、設置台の両面テープをはがし、車両のガラス面の適切な場所に取り付けてください。

1. ご使用の前に

1.5 本機器をセットアップする

取付手順 2

- 6 ケーブル固定ホルダーを用いて、電源ケーブルなど車内の各種配線を整理してください。



車両ナビのGPS受信等に問題が発生することがありますので、電源ケーブルは運転席側、後方ケーブルは助手席側へ配線の整理を行うことをお勧め致します。

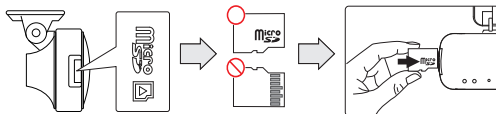
取り付けの際の注意事項

- ▶一度取り付け後は、極力外したり、再び付け直したりしないでください。
- ▶本機器を車両の外部に取り付けしないでください。
- ▶運転者の視界を遮ったり、車両の運転に妨げとなる場所に取り付けることは事故の原因となります。
- ▶運行中、本機器が外れたり動いたりしないよう、しっかり取り付けてください。

メモリーカードの挿入



Micro SD メモリーカードを使用する前に、この注意事項を必ずご確認ください。



- ▶メモリーカードを正常に挿入しなかった場合、録画ができないことがあります。必ずカチッという音が鳴るまでにメモリーカードを押し込んでください。
- ▶メモリーカードをはじめて使用する時、またはメモリーカードをフォーマットした時は、ファイルシステムの作成およびメモリーカードの点検のため、3～5分間待機状態になります。
- ▶“録画を開始します”という案内音声とともに録画が始まります。

2. 本機器の基本的な機能

2.1 使用方法

操作方法

電源ON	本機器を取り付けた後、車のエンジンをかけたり、常時電源につなぐと、全てのLEDが点灯します。 "録画を開始します" という音声案内とともに、録画LED のみ点灯され、常時録画がスタートします。 外付け GPSとつながっていない場合、GPS LEDは消えます。
電源OFF	車のエンジンを切ったり、常時電源ケーブルを抜くと全てのLEDが消えます。
外付けGPS	外付けGPSとつながると、GPS LEDが点滅し、受信状態に切り替わるとGPS LEDが点灯します。 外付けGPSを接続しても、LEDが点灯しない時は、接続部分をもう一度お確かめください。
Wi-Fi使用者登録	Wi-Fiボタンを押すと、登録待機モードの音声案内が流れます。 2分間接続がなければ自動的にモードが解除されます。ボタンをもう一度押すと、再び音声案内が流れます。

2. 本機器の基本的な機能

2.1 使用方法

録画の種類

常時録画 (常時録画モード)	電源をつなぐとすぐに常時録画モードが始まります。 セキュリティ LEDは1回/2秒のペースで点滅します。
衝撃録画 (イベント録画モード)	事故等が発生し車両に衝撃が加わった場合は、内蔵センサーがそれを感知し、録画LEDが点滅しながらイベント録画モードが始まります。 イベント録画モードが終了すると、自動で常時録画モードに切り替わります。
駐車録画 (駐車録画モード)	駐車録画モードに設定した後、停車または駐車した際、Gセンサーが衝撃を感知しなければ5分後に自動的に駐車録画モードが始まります。 10フレーム録画を行い、録画時間を延ばします。 セキュリティLEDは1回/1秒のペースで点滅します。 車両が動き出すと、自動で常時録画モードに切り替わります。
モーション録画 (モーション録画モード)	駐車録画モードの際、車両前方の3m以内で動きが感知されると、モーション録画モードが始まります(周りの環境や明るさによって多少差があります)。 セキュリティ LEDが早いペースで点滅します。 モーション録画モードが終わると、自動で駐車録画モードに切り替わります。

2. 本機器の基本的な機能

2.1 使用方法

音声案内

内容	音声案内
正常録画スタート	録画を開始します。
データ書き込み終了(上書き保存しない)	データ書き込み容量が不足し、録画されません。上書き設定を確認してください。
GPS正常受信	GPSが接続されました。
スマートフォン登録待機モード活性化	登録待機モードです。
スマートフォン登録待機モード非活性化	登録待機モードが解除されました。
Wi-Fi 使用できないタイプ	使用できないWi-Fiです。
Wi-Fiが無い時	Wi-Fiがありません。
スマートフォン登録完了	登録が完了されました。
すでに登録されたスマートフォンの登録	すでに登録されたスマートフォンです。
スマートフォン接続	使用者が接続されました。
スマートフォン解除	使用者接続が解除されました。
スマートフォン再生モード接続	使用者が検索を始めたので、録画を一時停止します。
スマートフォン再生モード解除	録画を再開します。
駐車録画モードから常時録画モードに切り替え	運行モードで録画を開始します。安全運転でお願いします。

2. 本機器の基本的な機能

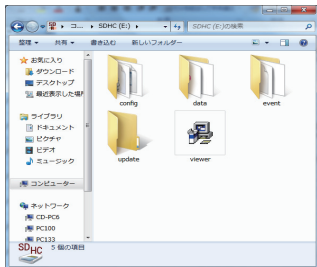
2.1 使用方法

音声案内

内容	音声案内
Micro SD メモリーカードフォーマット(独自フォーマット)	メモリーカードをフォーマットしています。しばらくお待ちください。
Micro SD メモリーカード未挿入	メモリーカードが見つかりません。
Micro SD メモリーカードの不具合	メモリーカードにエラーが発生しました。録画できません。
Micro SD メモリーカードのファイルシステム復旧	メモリーカードにエラーが発生し、再起動致します。繰り返しエラーが発生する場合は、メモリーカードを交換してください。
ファームウェア正常アップデート	プログラムをインストール中です。電源を切らないでください。
ファームウェアのアップデート失敗	プログラムファイルにエラーが発生しました。インストールできません。
正常録画スタート	録画を開始します。
システム終了	システムを終了します。
後方撮影カメラ接続	後方撮影カメラが接続されています。
後方撮影カメラ接続解除	後方撮影カメラが接続されていません。
後方撮影カメラ障害	後方撮影カメラにエラーが発生しました。
LBP	駐車中、衝撃イベントが発生しました。(駐車後電圧変動があったときのみ作動)
駐車イベントお知らせ	バッテリーを保護するため、システムが再起動されました。(バッテリー保護機能により電源OFF後再起動された場合のお知らせ)

2. 本機器の基本的な機能

2.2 メモリーカードの動画フォルダ



- 1 本機器の電源を切った後、メモリーカードを取り出してください。
- 2 取り出したメモリーカードをメモリーカードホルダーに取り付け、お使いのPCの読み取り装置に接続してください。
- 3 「マイコンピュータ」から「リムーバブルディスク」を開きます。「リムーバブルディスク」の中のフォルダが左図のように表示されます。「オプション」でイベント書込容量を10%以上に設定すると、「event」フォルダが生成されます。



メモリーカードの中にあるファイルを任意に削除したりフォーマットしないでください。重要な録画データは必ずPCなどにバックアップを取ってください。

①Config (機器システム管理フォルダ)	Log.txt : 機器の動作状態をログファイルとして書き込みます。 Version.ini : 機器のバージョン情報を書き込みます。
②Data (常時録画フォルダ)	録画データが入っています。メモリーカードの容量によってファイルの数に差があります。書込容量を確保するために作成されます。
③Event (イベント録画フォルダ)	イベント(衝撃、駐車、モーション)データが入っています。
④Update (機器ファームウェア・アップデートフォルダ)	ファームウェア・アップデートのデータをこのフォルダに入れておくと、自動でアップデートします。

※ メモリーカードの容量ごとの録画可能時間(初期設定での目安) (8GB:3.5時間、16GB:7時間、32GB:14時間、64GB:28時間)

3. ビューアの設定方法

3.1 ビューアソフトのインストール



HD 映像を再生するために必要な最小のPC仕様は
CPU : Dual Core 2.0Ghz 以上、RAM : 1GB 以上、VGA : 256MB 以上です。
仕様の低いPCでは、映像が再生されなかったり、途切れる現象が発生する恐れがあります。

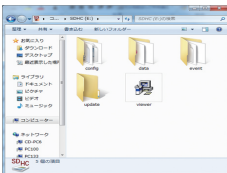
1 Micro SD メモリーカードを初めて使う場合やフォーマットしたばかりの場合は、ビューアがインストールされていません。

2 本機器にMicro SD メモリーカードを挿入し、電源を入れてください。

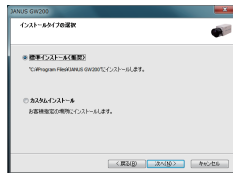
3 映像データの容量によって、録画スタートの時間が異なります。
最初の3～5分間はシステムファイルを書き込む作業を行います。この際、全てのLEDが点滅し、正常に立ち上がった後は録画が始まり REC LED が点灯します。この間は電源を切らないでください。

4 Micro SD メモリーカードを取り出し、PCに挿入してください。

5 図のように、Micro SD メモリーカードに入っている Viewer.exe インストールファイルを実行します。



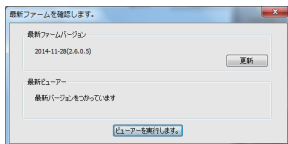
6 「標準インストール(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



3. ビューアの設定方法

3.1 ビューアソフトのインストール

- 8 ネットワークにつながると、図のように最新バージョンのポップアップ・ウィンドウが開きます。
つながっていない場合は、ウィンドウは開かず、JANUS S GW-200 専用ビューアが立ち上がります。



- 9 「ビューアの実行」をクリックすると、ビューアが実行されます。

- 10 インストール終了後、自動でJANUS GW-200専用ビューア・プログラムが実行されます。また、デスクトップにアイコンが作成されます。



- 11 ファイルを開く - ビューアで「開く」ボタンをクリックすると、図のように、「フォルダの参照」ウィンドウが開きます。



SDカードを選択し、確認のボタンをクリックしてください。

3. ビューアの設定方法

3.2 ビューアのメニュー

メニュー項目



- 1 ファイル一覧
- 2 地図データ
インターネットに接続された状態で表示
- 3 表示画面の切替
- 4 G-センサー(加速度)グラフ
- 5 再生速度調整
- 6 音量調整

7 録画映像の再生

◀ ▶	逆方向・順方向再生
⏸	一時停止
🔄	イベントのリピート再生
⏮ ⏭	1フレーム再生
⏪ ⏩	前・次のイベント

8 速度計

外付けGPSとつながっている時のみ動作します。

9 録画データの管理

📺	多画面表示
📏	レーン(補助線)を引く
🖨	印刷
💾	バックアップ
⚙	設定
📁	開く(ファイル)

4. 本体の設定方法

4.1 システムの設定



①常時録画:通常録画のフレームレートを設定します。

②イベント録画:イベント録画のフレームレートを設定します。

③明るさ:暗く・基本・明るくの3段階で設定できます。

④音声録音:車内の音声を録画するかしないかを選択します。

⑤上書き保存:
する=SDメモリーカードの空き容量がなくなった時、古い映像から上書きして録画を継続します。
しない=SDメモリーカードの空き容量がなくなった時点で録画を停止します。

⑥しない=SDメモリーカードの空き容量がなくなった時点で録画を停止します。

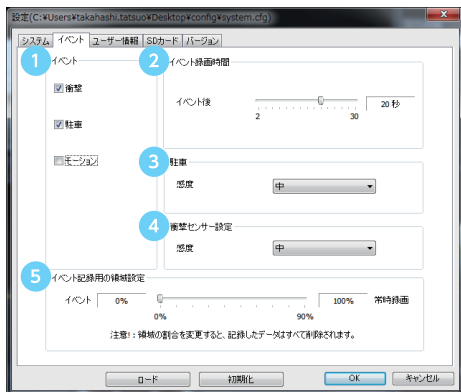
⑦再起動:口をチェックすると指定した時刻に本体が自動的に再起動します。

⑧ブザー音:イベントを検出した際、アラーム音を鳴らすか鳴らさないかを選択します。

⑨Km/Miles:Kmかマイルを選択します。

4. 本体の設定方法

4.2 イベントの設定



① イベント:チェックした項目をイベントとして検出し
てイベント録画の対象とします。

衝撃=ショックセンサーが衝撃を検知した時。

駐車=5分間車両の移動が無かった場合、駐車モード
に切り替わり、録画フレームを10フレームにし
データ量を減らします。

モーション=駐車している間、映像に動きがあった場合。

② イベント録画時間:イベント発生後の録画時間を秒
単位で設定します。

③ 駐車:駐車時の衝撃感度を設定します。

低=低感度 / 中=中感度 / 高=高感度

④ 衝撃センサー設定:ショックセンサーの感度を設定
します。

低=低感度 / 中=中感度 / 高=高感度

⑤ イベント記録用の領域設定:イベントのメモリー
領域を10%単位で設定します。

4. 本体の設定方法

4.3 ユーザー情報を入力する

設定(C:\Users\takahashi.tatsuo\Desktop#config#system.cfg)

システム イベント ユーザー情報 SDカード バージョン

1 車両情報

車両情報

運転者情報

車両番号

2 ユーザー情報

ユーザーID admin

パスワード

3 LBP

Power On 12.4V 12.7V 12.9V 13.1V 13.3V
24.4V 24.7V 24.9V 25.1V 25.3V

Power Off 11.3V 11.5V 11.8V 12V 12.3V
23.3V 23.5V 23.8V 24V 24.3V

4 タイムゾーン設定

2014-12-12 午後 05:00

ロード 初期化 OK キャンセル

①車両情報:車に関する情報を入力してください。

運転者情報:運転する人の名前を入力してください。

車両番号:車の車両ナンバーを入力してください。

②ユーザー情報

ユーザーID:ログイン時のIDを入力してください。

(初期値:admin)

パスワード:ログイン時のパスワードを入力してください。

(初期値:設定されていません)

③LBP:チェックするとバッテリーの電圧低下保護で本体への電源供給を遮断します。

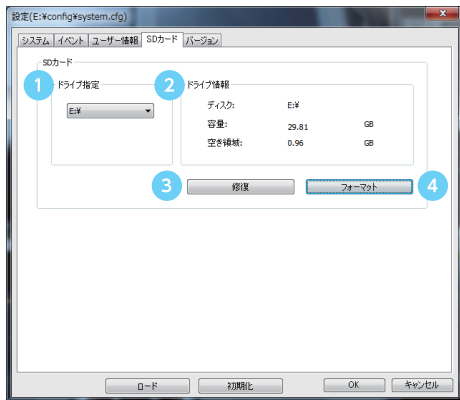
Power On:本体の電源をONにするバッテリーの電圧を選択します。

Power Off:本体の電源をOFFにするバッテリーの電圧を選択します。

④タイムゾーン設定:外付けGPSが接続されていない場合の時刻設定

4. 本体の設定方法

4.4 SDカードの情報・修復



①ドライブ指定:メモリーカードが挿入されているドライブを示します。

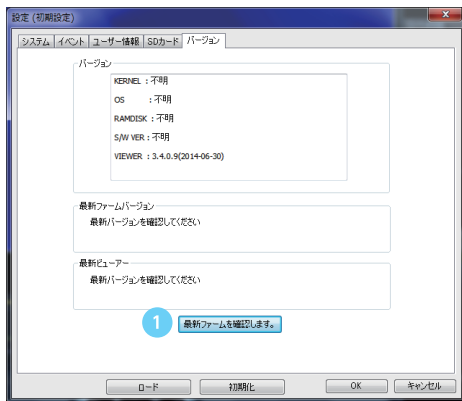
②ドライブ情報:ドライブ指定されたメモリーカードの情報を示します。

③修復:Windowsのチェックディスクコマンドを実施します。

④フォーマット:SDメモリーカードをフォーマットして、カードにシステムファイルをコピーします

4. 本体の設定方法

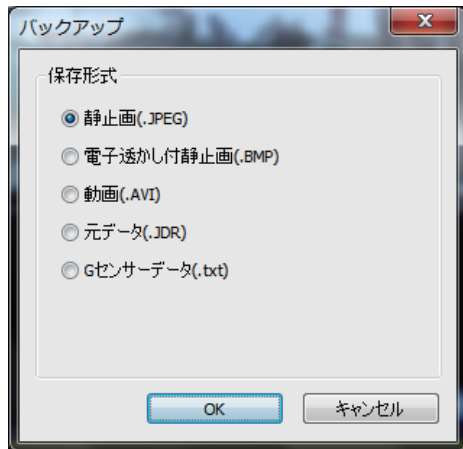
4.5 ビューアソフトのバージョン確認



- ①最新ファームウェアを確認しファーム、ビューアのバージョンを表示します。

4. 本体の設定方法

4.6 バックアップ形式の設定



静止画(.JPEG)

JPEG形式の静止画として保存します

電子透かし付き静止画(.BMP)

電子透かしが入ったBMP形式の静止画として保存します。このオプションは画像改ざん防止に有効です(注1)

動画(.AVI)

AVI形式の動画として保存します

元データ(.JDR)

JDR形式の動画として保存します

Gセンサーデータ(.txt)

ショックセンサーデータをTXT形式(テキストファイル)で保存します

注1) BMP方式(電子透かし入り)で保存した画像を見るときは、ビューアと一緒にインストールされている専用表示ソフト(Watermark Proofer)を使用してください。専用ソフト以外では、電子透かしの有無は確認できません。

5. ビューアの機能

5.1 再生画面の切り替え

ビューアの再生画面をダブルクリックすると全画面表示になります。全画面表示から再度ダブルクリックすると通常の再生画面に戻ります。



マウスを右クリックすることにより、デジタルズームになります。再度右クリックすることによりデジタルズームが閉じます。



5. ビューアの機能

5.2 レーン(補助線)を引く



レーン(補助線)を引くアイコンをクリックし、ラインをレーンに合うように調整してください。レーン(補助線)を表示するにチェックを入れ適用をクリックしてスタートしてください。解除はレーン(補助線)を表示のチェックを外し適用をクリックしてください。



多画面表示のアイコンをクリックすると、16分割(2カメラは8分割)の画面が表示されます。それぞれのスクリーンは個別のフレームとなります。どれかひとつをフルスクリーン表示するためには、表示させたいスクリーンをダブルクリックしてください。多画面表示をキャンセルするためには、元の表示に戻るをクリックしてください。

5. ビューアの機能

5.3 リポート再生



レポート再生を設定するためには、レポートアイコンをアイコンをクリックしてください。再生中に希望する開始ポイントと終了ポイントををクリックすると指定された時間内でレポート再生されます。

保証規定【必ずお読みください】

- 1.本保証書はお買い上げいただいた販売店が必要事項を記入、捺印することにより有効となります。
- 2.お買い上げいただいた表記製品が、表面記載の保証期間内に、取扱説明書その他の注意書きに従った使用状態で故障した場合、本保証書の条件に従って無料で修理(以下、無料修理)を実施いたします。なお、保証修理の実施により取り外した不具合部品の所有権は、当社に譲渡いただきます。
- 3.保証期間は、お買い上げ日より本体1年間といたします。
(「本体」には、消耗品とソフトウェアの内容は含まれません。消耗品については取扱説明書をご覧ください)
- 4.無料修理をご依頼になる場合は、製品に本保証書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申し付けください。
- 5.保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
 - (1)当社が指定した方法以外の取付や、分解・改造をおこなった場合
 - (2)取扱説明書・その他の注意書きに示す取扱方法と異なる使用をされた場合
 - (3)故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
 - (4)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障および損傷
 - (5)本保証書の添付がない場合
 - (6)本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入・捺印のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6.お客様が表記製品で記録された各種データ(映像、音声、地図情報など)の破損、紛失については、一切責任を負いかねます。
- 7.本保証書に記載されたお客様の個人情報、無料修理対応とその後の安全点検活動のために利用させていただくことがありますので、ご了承ください。
- 8.保証期間経過後の修理に関しては、取扱説明書をご覧ください。
- 9.本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY IS VALID IN JAPAN ONLY)
- 10.本保証は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 11.本保証書は保証規定により無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



コスモステック株式会社
COSMO SYSTEM